
第一話

源家濫觴事

『前太平記』上 卷第一 十八頁から二十頁より

澄んだものと、汚れたものが分離して、天となり、地となる。天にあるのは、

清濁昇降して

天と為り地と為る。

天に在つては

つまり、日月星、地にあるのは、つまり、山河草木。尊卑が上下して、君主とな

則ち

日月星辰、

地の在つては

則ち

山河草木。

尊卑上下して

君と為り、

り、臣下となる。君主でいるのは、つまり、王や諸侯、大臣、父。臣下でいるの

臣と為る。

君に在つては

則ち

王侯公伯、

臣に在つては

は、つまり、源平藤橘。所謂、橘とは、聖武天皇の御代に葛城王(橘諸兄)をもって

則ち

源平藤橘。

始まって、橘氏となる。藤とは、天智天皇の御代においての内大臣・中臣鎌足をも

って始まって、藤原氏となる。平とは、宇多天皇の御代に高望王をもって始まっ

て、平氏となる。源とは、清和天皇の流れである。さて、この清和天皇は、朝廷の

人皇の始まりである神武天皇から 56 代目の帝位である。ご長男の貞明親王は前帝

※※※訳の引用・スクリーンショットなどは、作品名及び本サイトのURL (月下庵/<https://gekkaanzentaiheiki.wixsite.com/mysite>) をご記載いただけましたらご自由にさせていただいて結構です。※※※

の譲位を受けて即位して、陽成天皇と称し申し上げる。六男の正四位上の中務卿・貞純親王は、一条大宮の桃園宮に住みなさる。御子の経基王は、清和天皇の6番目の息子の孫であることによって、世は「六孫王」と名付けて読んだ。その天性の気

其氣質の稟、

質は、威厳があっても荒々しくなく、武芸は意志が強く勇敢で、激しさは日本を覆

威あつて猛からず、

武毅勇烈扶桑に覆ひ、

いつくし、文の美しさは博学で日本の地を照らし輝かせ、前々から和歌を良く綴り

文藻博覧日域に映かし、

兼ねては善く和歌を属し給へば、

なさるので、文の表現も内容も共に良い君子であると、皆思うだろう。延喜七年

謂つべし、文質彬々たる君子なり、と。

(老) 十月五日、御年は十五歳で常寧殿 (貳) で元服をおむかえになる。加冠する人は母方の伯父の源能任殿、髪を整える人は藤原定方朝臣である。すぐに束帯をきらびやかに飾り、帝にお目にかかっている様子は冠の端から衣服の襟元の美しさに至

冠の際より始めて衣紋の綺羅に至るまで、

るまで、実に調和がとれているように見えた。すぐに除目 (參) が行われ、右馬の助 (肆) に任命し、正六位上を授けられ、その時初めて「源」の姓をいただいた。もう一度月花門の宮中に据えなさり、識事 (伍) である左中弁 (陸) 雅氏が勅命の次第を申

し含められたことには、経基こそ日本の大將軍で、武士の棟梁であるのがよいと言って、白幡を一本、螺鈿の剣を一振添えて、これを与えてくださった。経基は右膝をつき、左の二の腕をまくり上げ謹んで承って、これを頂戴し、すぐに勅答申し上げられたことには、「私は今回の勅令を被ること、一生の面目、後代までの名誉。さて、大將軍の任命は古くから非常に重大な任務の寄託である。有能な役人の才

抑、大將軍の任、古来最も重寄為り。吏幹の才を択び、

能を選び、帝室を守る諸侯の器でないなら、どうしてこの任務に当たるだろうか、

藩鎮の器に非ずんば、争でか此任に当たらん。

いや、当たらないはずだ。私はまだ若い。どうしてこの重職を畏れ多くも受けられ

経基年齢未だ満たず。何ぞ此重職を辱ふせん」

るだろうか、いや、受けられない」と、何度も謙辞しなさが、勅命がなくなることはできなくて、経基は承知した。これは、元慶八年の伯父上の貞保親王の先例と似ていて、本当に立派に見えた。源氏の太祖、一流の正統、いかにもこのようであ

源氏の太祖、一流の正統、尤も斯くこそ有るべけれど、

るのは当然だと、称嘆しない者はいなかった。

称嘆せぬは無かりけり。

注釈

※壺・延喜七年……西暦 908 年。

※式・常寧殿……内裏の殿舎の名。後宮七殿の一つ。皇后・女御の居所。

※参・除目……大臣以外の諸官職を任命する行事。

※肆・右馬の助……右馬寮の次官。馬寮とは、宮中で飼育・調練・馬具など馬に関することを司る役所。

※伍・識事……院や公卿に仕え、雑事を司る職。

※陸・左中弁……太政官の判官の一つ。庶務を司る。

記念すべき第一話でございます。この物語の魅力の一つである、繊細かつ大胆な描写が目立ちます。

物語の切り出しや、経基王の気質等を説明した描写は、私の大好きな表現の一つです。

この物語は一貫して朝廷と清和源氏を称賛しています。その称賛の言葉は大変美しく語られており、私も美しい言葉として訳をしていくように心がけます。

感想・指摘・叱咤激励、随時受け付けております。Twitter やメール等でご連絡ください m(__)m

公開：2015/5/23

改訂：2021/3

海熊童子

※※※訳の引用・スクリーンショットなどは、作品名及び本サイトのURL（月下庵/<https://gekkaanzentaiheiki.wixsite.com/mysite>）をご記載いただけましたらご自由にしていただいて結構です。※※※